



第14回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)

The 14th Annual Meeting of Japanese Orthopaedic Society of Knee, Arthroscopy and Sports Medicine



第48回 日本整形外科スポーツ医学会学術集会 (JOSSM)

The 48th Annual Meeting of Japanese Orthopaedic Society for Sports Medicine

ランチセミナー15 〈LS15〉

# 新開発インプラント デザインと 手術器械を活かした CR-TKA手技

CR-TKA technique utilizing new implant design and surgical instrumentation

日時

6.17<sup>2022</sup>  
[FRI]

12:00 - 13:00

会場

第7会場

札幌コンベンションセンター  
2階 204

座長

赤木 将男 先生

近畿大学医学部  
整形外科学教室



演者

栗山 新一 先生

京都大学大学院医学研究科  
整形外科学教室

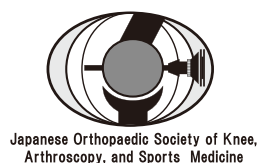


京セラ株式会社 メディカル事業部

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地  
<https://www.kyocera.co.jp/prdct/medical/>

共催：JOSKAS-JOSSM 2022、京セラ株式会社

単位：必須分野(N)：[12] 膝・足関節・足疾患



---

## 新開発インプラントデザインと手術器械を 活かしたCR-TKA手技

CR-TKA technique utilizing new implant design and surgical instrumentation

---

京都大学大学院医学研究科整形外科学教室 栗山 新一



新しく開発されたInitia Total Knee Systemは、大腿骨インプラントをsingle-radius形状とし、摺動面全体をボール&ソケット構造に模して、膝関節中間屈曲位の前後安定性を持たせつつ、medial pivot motionをしながらroll-backが促進され、膝関節深屈曲獲得が期待されるデザインとなっている。また摺動面のconformityの高さから、低い関節面接触応力を筋骨格コンピュータシミュレータ解析から算出されている。日本人骨形態に適切な

サイズバリエーションが設定され、インサート形状を変えることでPCL緊張の調節が容易に可能となっている。手術器械も今まで臨床で培ってきた経験から骨切りガイドなどに様々なアイデアが盛り込まれており、術中に微調整がしやすくなっている。京都大学では2020年よりCR型の臨床使用を行っており、短期使用ではあるが、私達が行っているInitiaインプラントデザインと手術器械を最大限活かしたCR-TKAの手術手技を概説する。